

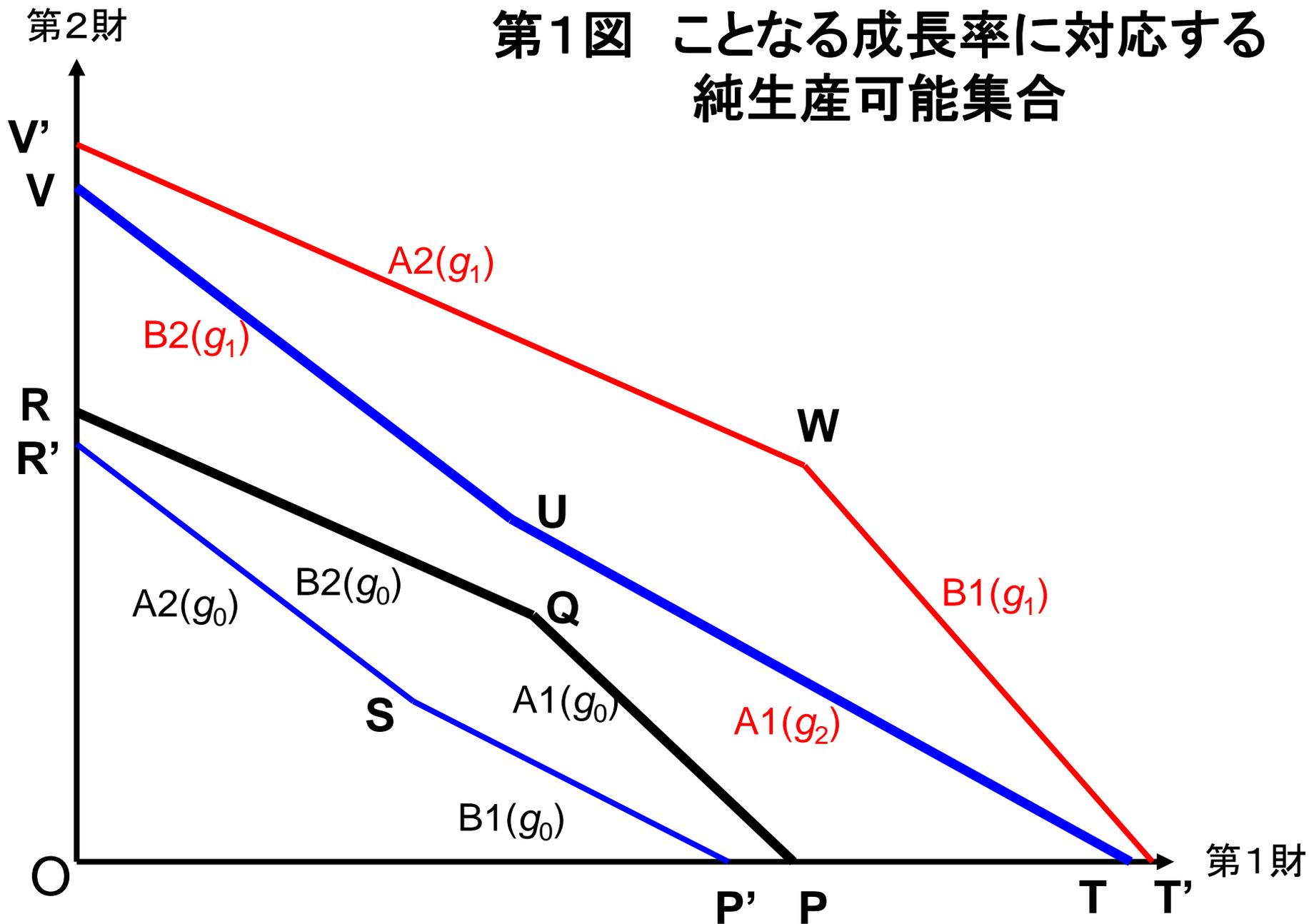
国際価値論研究会 第8回例会 2016.4.17

岡敏弘報告へのコメント

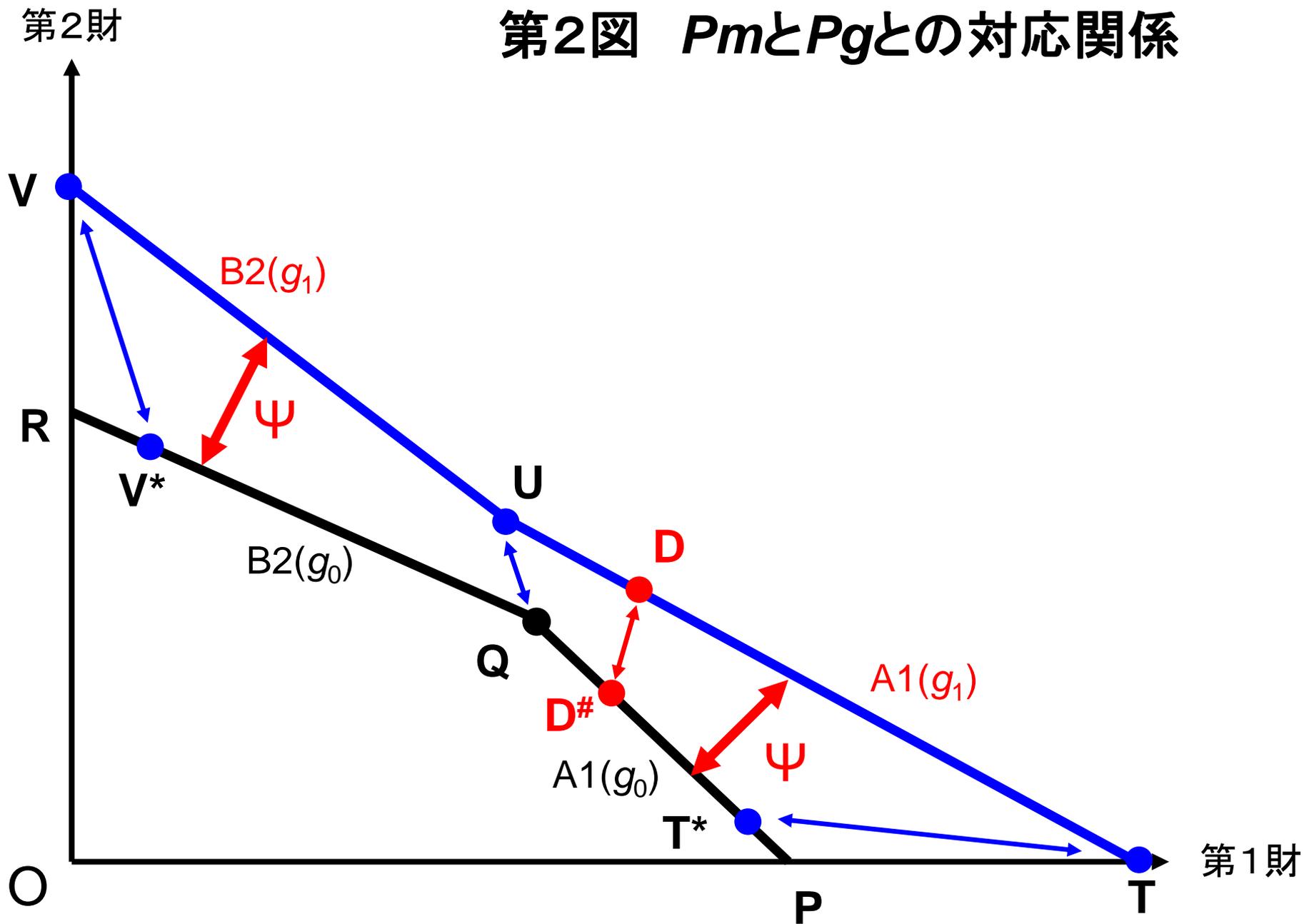
# 純剰余生産物と生産可能集合

塩沢由典

第1図 ことなる成長率に対応する  
純生産可能集合



第2図  $P_m$ と $P_g$ との対応関係



# 第3図 $g < r$ における技術選択と純剰余

利潤率  $r$  ( $s < r$ ) のもとにおける技術選択では、つねに技術系Aが選ばれるが、成長率  $g$  ( $g < s$ ) では、これは純剰余(あるいは実質賃金)を最大化しない。

